

摂津市緑の基本計画(案)に対するパブリックコメント(意見募集)結果

- ・意見募集期間 平成 26 年 2 月 3 日～17 日
- ・意見提出 2 人 11 件
- ・提出方法 直接持参 0 人 FAX 0 人 市ホームページ 2 人

※太字・下線表示は計画に反映します。
(p〇〇)は意見募集時の資料ページです。

寄せられたご意見(概要)	市の考え方
p50(p42).既存公園・緑地の市民参加型の管理運営についてバリアフリーの観点から公園に身障者用トイレの設置をお願いします。また公園のアドプトを検討してください。	<p>○公園を利用される地域の方々の声を聞きながら管理を行う中で身障者用トイレの設置についても検討していきます。</p> <p>○公園の使い方や管理について地域と協力していく中で、アドプトの取り組みについても検討していきます。</p>
p25(p19).「薫英学園による地域…」薫英学園に問合せた所、連絡会など知らないと言われた。記載内容に誤りがあるのではないか。	<p>○薫英学園は公園みどり課と協働で花壇活動に取り組んでいます。緑化推進連絡会との関連はありません。</p> <p><u>記載について整理を行い、「下記の活動にも取り組んでいます。・〇〇活動」に変更します。</u></p>
p27(p21).行政が支援を行っているのではなく市民が行政に支援している。	<p>○活動したい方々に対し制度を整備することは行政の役割として考えており、その意味で支援という言葉を使っています。</p>
p28(p22).写真に顔が写っている。確認をとったのか。苗圃に看板はあるのか。年間いくら税金をかけ市民にどのような貢献をしているのか。	<p>○公的な事業の記録として、撮影する許可を得た写真を使用しています。</p> <p>○看板は設置しています。</p> <p>○予算は、主に土や肥料などの原材料および光熱水費に使用しています。</p> <p>○苗圃では、専門の指導員により「花と木の実践養成教室」を開催し、市民の緑化技術向上に努めています。あわせて種から花苗を育成し、市内の花壇に花苗を供給しており、地域の方々に季節の花を楽しんでいただいています。</p> <p>今後、公園をはじめ様々な場所を花いっぱいにして、市内の緑の質の向上をはかりたいと考えています。</p>
p29(p23).「顔が見える緑化活動…」どういう意図か。	<p>○誰が、どこで、どのような緑化活動をしているのか、関係者間で把握していき、個々の活動をつなげ、活動の輪を広げていくという意図です。</p>

寄せられたご意見(概要)	市の考え方
p33(p27)。「ガイドツアー」具体的にどういふことをするのか。私有地に行政が無断で侵入するのか。バスなどを借り無駄な税金を使うのか。	<p>○地域で緑化活動している方の案内で、市内の花と緑の名所を巡ることを考えています。</p> <p>○民有地については承諾をとります。</p> <p>○バスを借りることは考えていません。</p>
p34(p28)。「バルコニーガーデン講習会」外部からの講師を呼びつけ税金を使うのか。 ※計画書では「バルコニーガーデン講習会」⇒「寄せ植え講習会」に表現を改めています。	<p>○苗圃の「花と木の実践養成教室」の卒業生が経験を積むことで講師となり、市民が市民に緑化の楽しさを伝えていくことを考えています。</p>
p46(p39)。「地域苗圃の整備…」数年後には活動出来ないのが見えている。もし、そうならないという根拠があるなら10年後20年後も無駄にならないサイクルを示せ。 地域苗圃の作り方は抽象的であり具体的でない。	<p>○地域苗圃は、地域を花と緑でいっぱいにするため、自治会単位で応募をいただき、地域で花壇活動している方々と見て楽しむ方々が協働で緑化を広げていくことを目的とした施策です。</p> <p>現在、地域で苗圃活動を行っている3団体では15年以上活動している団体もあり、このように継続できるよう様々な支援を行います。</p> <p>○地域で花壇活動に関わる人が増え、より活動を広げていくために、活動の規模に合わせた苗圃を整備していきます。</p>
p46(p39).人材育成とはどのような育成か。	<p>○地域苗圃の展開に必要な人材は、地域を花と緑で彩ることに関心と熱意を持って活動していただける市民です。そのような人材を花と木の実践養成教室で育成し、地域の花壇で実践することで見ている市民との関わりとなり、花の知識や技術を地域の方々に伝えて新たな活動につながることを目的としています。</p>
全体的にカタカナが多く読みにくい。コーディネート、バルコニーガーデンなど、誰でも分かる表現に変えて頂きたい。	<p><u>○カタカナ用語については、表現をあらためる、用語集で説明するなど、分かりやすい表現に努めます。</u></p>
「協働」の言葉に逃げている。内容は市民任せのようにしか見えない。その場しのぎの計画にしか見えない。将来性がない。	<p>○p1.の中間総括に記載のとおり、旧計画は公園や緑地の整備を目的としていましたが、財源の確保が難しい状況となっています。</p> <p>緑のまちづくりの将来像を実現するには、行政で行うべきところはしっかりと取り組み、また互いの特性を生かし協働によって緑化を図ることが必要であり、既存の施設や様々な場所を活用し、市内の緑の質の向上を図りたいと考えています。</p>